

都市再生整備計画 事後評価シート  
佐久穂地区

平成24年3月

長野県佐久穂町

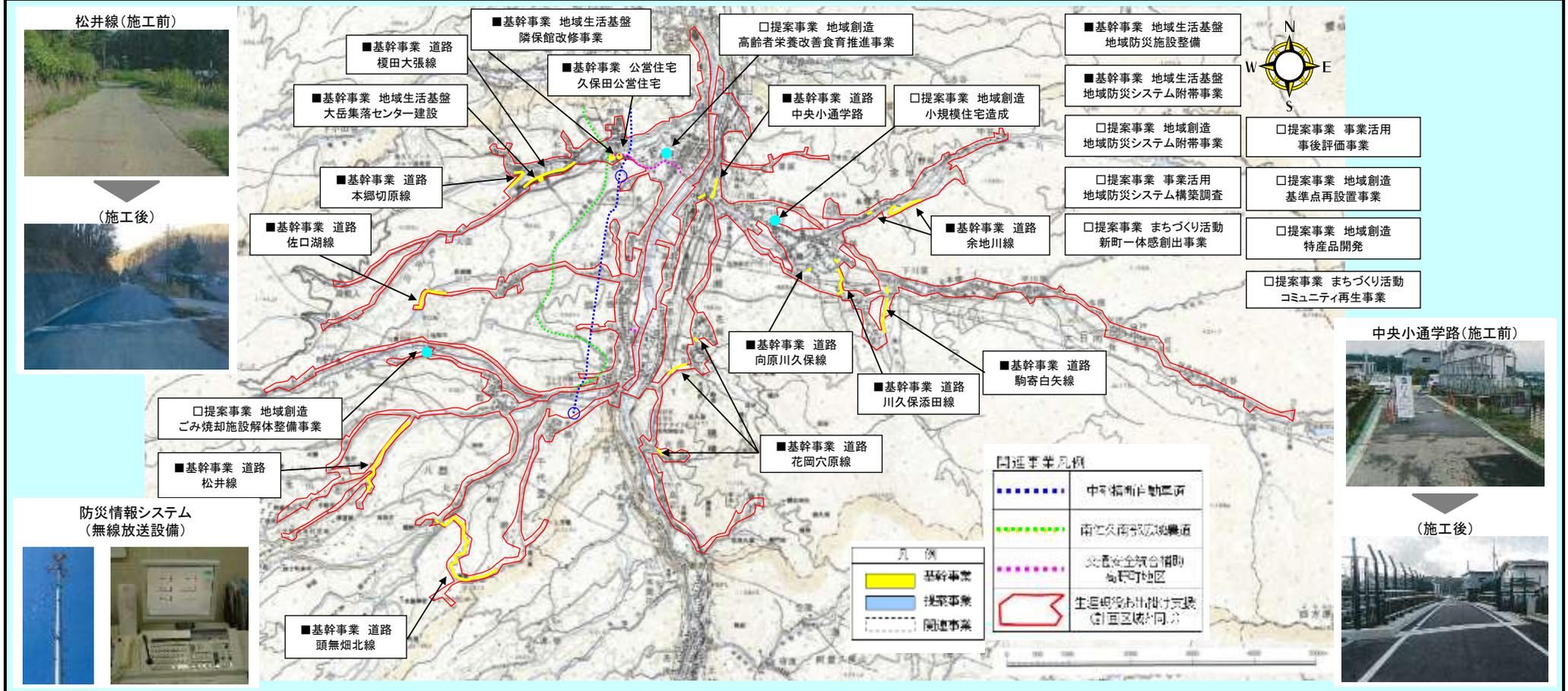
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	ながの けん 長野県	市町村名	さくほまち 佐久穂町	地区名	さくほちく 佐久穂地区	面積	989ha						
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	1,589.1	国費率	0.405						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 道路事業(本郷切原線、榎田大張線、中央小通学路、余地川線、騎寄白矢線、向原川久保線、花岡穴原線、頭無畑北線道、松井線、佐口湖線)、地域生活基盤施設(耐震性地下式防火水槽、防災情報システム)、公営住宅等整備(公営住宅建設久保田) 提案事業 地域創造支援事業(高齢者栄養改善食育推進事業、基準点再設置事業、特産品開発事業、小規模住宅造成事業、ごみ焼却施設解体整備事業、防災情報システム付帯事業)、事業活用調査(地域防災システム構築調査)、まちづくり活動推進事業(新町一体感創出事業、コミュニティ再生事業)										
	当初計画から削除した事業		事業名 基幹事業 ・道路事業(石堂線) ・高次都市施設(上畑地域交流センター) 提案事業 ・地域創造支援事業(大岳集落センター建設事業、隣保館改修事業、公営住宅上下水道事業)		削除/追加の理由 ・道路事業は事業主体が変更したため削除 ・高次都市施設は用地確保が困難となり計画期間での事業完了が困難となり削除		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ・他事業で実施されるため、影響なし ・地域コミュニティの維持に影響があるが、目標及び指標は据え置く						
	新たに追加した事業		基幹事業 ・道路事業(川久保添田線) ・地域生活基盤施設(大岳集落センター建設事業、隣保館改修事業、防災情報システム付帯事業) 提案事業 ・事業活用調査(事後評価事業)		削除/追加の理由 ・道路事業は地元要望により追加 ・地域生活基盤施設は提案事業から基幹事業へ変更したため		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ・道路事業を追加により、地元住民の生活環境の向上に影響があるが、目標及び指標は据え置く ・影響なし						
	交付期間の変更		当初 変更	平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	住民納得度	%	38.3	H17	51	H23	57.2	○	あり	エスケープ道路の確保、防災情報システム、耐震性地下式貯水槽の整備などにより、防災体制の充実が図られた。また、道路や宅地、光ファイバ幹線等を整備することにより、生活環境が向上した。	-	
	指標2	転入者数	人	201	H17	230	H23	214(H20)	201	×	あり	宅地造成や公営住宅整備、道路、光ファイバ幹線等の生活環境整備や特産品開発による産業活性化など定住施策の効果はあったが、転入者数は従前値とほぼ同数であり、目標値に達しなかった。	平成24年4月
指標3	道水路普請実施集落割合	%	60.3	H17	75	H23	100	○	あり	地域で行う維持管理により、地元からの整備要望がより具体化されたとともに、町への整備要望個所について、自主的に自営工事を行う区が増加した。	-		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	そば組合の耕作面積	m <sup>2</sup>	112,217	H17			173,948			産業振興として、そば組合への支援や道路整備により、農業環境が向上し、そば組合の耕作面積の増加に繋がった。	-	
その他の数値指標2	自主防災組織の組織数編成割合	%	72.4	H17			93.1			防災施設の整備や庁内での呼びかけなどにより、防災意識の向上とともに、地域による防災活動も活発化した。	-		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災情報システム付帯事業による気象システム(雨量監視システム)の整備により、住民が各自のパソコンや携帯電話から降雨量を確認することが可能となり、避難等の判断に役立っている。</li> <li>・防災情報システム付帯事業により作成された防災地図(原因図)を活用し、洪水ハザードマップや住民支え合いマップなど、地域住民に広く活用されている。</li> <li>・住民支え合いマップは、救援の必要な人など地域住民の情報が記載されており、自主防災組織と消防団、行政で情報を共有することにより、避難時に安否確認や救援対応ができるよう地域で作成されている。今年度末には全区での作成が目標である。</li> <li>・アンケート調査では、「生活環境・産業振興」に対して約6割が「効果があった」と回答しており、事業効果が見られた。また、「無線放送が聴きやすくなってよかった。」「道がきれいになり、安全性も高まった。」「遅れていたブロードバンドが導入され、スピードが速くなりたいへん環境が良くなった。」などの意見があった。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	転入者数		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	引き続き、データ収集を実施し、定住人口を確認する。				
	住民参加プロセス	①実施計画要望箇所調査の実施 ②大岳集落センター建設委員会の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				①● ②●	今後も引き続き区の状況を把握し、整備等を進めていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

### 佐久穂地区（長野県佐久穂町）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
『小さくともキラリと光る町を実現する』～安心、安全、快適なまちづくり～	住民納得度	単位：%	38.3 H17	51 H23	57.2 H23
目標1 安心とろうおいがあある快適なまち（生活環境の整備と産業振興）	転入者数	単位：人	201 H17	230 H23	201 H23
目標2 学びと福祉が織りなす心豊かな人づくりのまち（教育文化の向上と保健・医療・福祉の充実）	道水路普請実施集落割合	単位：%	60.3 H17	75 H23	100 H23
目標3 知恵と夢で拓くみんなで作るまち（住民と行政の協働）					



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地元要望に沿った道路整備や、佐久穂町一体としてのイベントを開催したことにより、佐久穂町としての一体感が創出された。</li> <li>●公共用地の宅地造成や公営住宅整備などの住宅施策や特産品開発による産業の活性化などにより、定住施策を実施した。また、配食サービスの充実などにより、高齢化対策も進めている。</li> <li>●防災情報システム整備により、町内の防災無線が一本化され、迅速で安定した情報提供が可能になった。また、エスケープ道路や耐震性貯水槽の設置により、防災体制の充実が図られた。</li> <li>●中部横断自動車道により分断された集落には、集落センターを整備し、避難場所に指定するなど、コミュニティの維持発展の拠点が整備された。</li> <li>●道路整備や高速ブロードバンド化により、生活環境が向上した。また、ごみ焼却施設解体や耕作地の維持により、田園風景が維持された。さらに、コミュニティ施設の整備や区への支援により、各地域にあった利活用がなされている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●継続的なイベント開催等による佐久穂町一体感の創出とともに、高齢化集落の抱える問題に対応する地域コミュニティ活動の継続や伝統文化の復活などに取り組む。</li> <li>●災害時の安全性の高い地域づくりと生活環境の向上を図るため、道路や施設等の継続的な維持管理などの防災対策の継続的な対応や、児童・生徒の通学安全面の向上を目指す。</li> <li>●定住環境の向上を図るために、空家対策や新規就農者対策および中部横断自動車道開通を見込んだ企業誘致等の施策を進めるとともに、遊休公共用地活用の検討、地域コミュニティ活動の支援を継続する。</li> </ul>